

# ヘルスケア事業を強化

## 大東紡織 5年後売上高20億円へ

大東紡織は2月1日付で、連結子会社の大東紡寝装を吸収合併しヘルスケア事業本部を新設する。これに伴いODM(相手先ブランドによる設計・生産)営業部、機能繊維営業部を所管する営業本部をアパレルファッション・ユニフォーム事業本部に改称する。

ヘルスケア事業本部は「Eウール」加工やバイオ麻などの健康関連の繊維素材、寝具・寝装品を扱う寝装ビジネス部、温熱電位治療器など各種家庭用の健康医療関連機器を扱う健康ビジネス部などからなる。今期は売

上高8億5000万円、営業利益1500万円を見込み、16年3月期に売上高13億円、営業利益8000万円、19年3月期に売上高20億円、営業利益2億円を目指す。

Eウールは非塩素加工の防縮ウールで、糸売りから毛布などの製品売りに転換したところ販売が順調に伸びている。温熱電位治療器は、同社の縫製工場に機器を埋め込んだ毛布を作りOEM(相手先ブランドによる生産)供給している。本体に組織を吸収したのを機にこの2分野の販売を強化する。